

KBFニュースレター

第6号

NPO法人 九州バイオマスフォーラム

〒869-2232 熊本県阿蘇市の石 1537 TEL 0967-35-1128 FAX 0967-35-1151

<http://kbf.sub.jp/> kbf@aso.ne.jp 平成 20 年 1 月 KBF 事務局発行



皆さまへ

理事長 吉田 愛梨

新しい 1 年が始まりました。京都議定書の約束期間が始まる 2008 年。今年もバイオマスを取り巻くさまざまな動きがありそうですね！九州バイオマスフォーラムにとっても、去年に引き続き大きな 1 年となりそうな予感がします。

去年は、当 NPO 法人が発足して以来の悲願であった「草をエネルギーに！」という取り組みがついに現実のものとなりました。NEDO の委託事業として阿蘇市が中心となって進めてきた草のエネルギー化事業。昨年 5 月に、阿蘇市にある公営プール「アゼリア 21」の敷地内で、発電と熱供給をするプラントが稼働し始めたことは会員の皆さまがご存知のとおりです。当初の予想よりも面積あたりの野草収量が少なかったことから、原料が供給できるかどうか心配な点がありましたが、これまでのところプラントに必要な草はすべて供給できております。これもみな、草刈り作業を担当してくださっているオペレーター組合の皆さんや、採草を認めてくださっている牧野組合さんたちのおかげです。エネルギーの燃料として利用するとどうしても価格が低くなってしまうという NEDO 事業のデメリットもありますが、地道に採草面積を増やしていくことで、今後のカスケード利用につなげられれば、と願っております。そんな思いを胸に、去年に引き続いて「草をどんどん活用するプロジェクト」に取り組んでいくことが、今年の大きな活動となりそうです。また、農水省の補助事業として実施したバイオマスキャラバンについても予想以上の反響を頂きました。これを機に、菜の花プロジェクトに向けた活動も展開できれば、と期待しているところです。本年も会員の皆さまの暖かいご支援とご協力をお願いいたします。皆さまにおきまして、実りの多い 1 年となりますことをお祈りいたしております。

2007 年を振り返って

主任研究員 中坊 真

2007 年は、KBF にとって新しいチャレンジの年でした。年の初めは、NEDO の事業で新規に導入した採草機械で、阿蘇の草原の草を初めて刈って集めました。全く草を集める仕組みのないところからのスタートでした。日本国内でも前例のないことでしたので、酪農や畜産をされている理事さんからアドバイスを頂いたり、地元の若手農家にオペレーターとして協力して頂きながら、なんとかプラントの稼働に最低限必要な草を集めることができました。しかし、目標とする草の量には至りませんでした。

その次に大きなチャレンジは、九州各地で集めた使用済みてんぷら油を BDF に変えて、トラックの燃料にしながら九州を一周し、その様子をテレビ番組として放映するという事業でした。ミュージシャンやトラックドライバーなど全く異なる職種の人たちが、一緒に寝食をともにしながら、九州各地をバイオマスという言葉を広めるためにキャラバンで回るということ。テレビ局・運送会社・行政・NPO など、それぞれの責任と役割を分担しながら事業を進めるということ。これらの準備作業や実施上の苦労は、この紙面では書きつくせないほどたくさんありました。

上記の二つの過程で、私たちの不手際や失敗により関係者に多大なご迷惑や御苦労をおかけしたかもしれませんが、一方で暖かい励ましやご協力もいただきました。2008 年は、そうした去年の失敗を糧に、これまでご協力いただいた方に少しでも御恩返しできるように成長を続けたいと思います。今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

-KBF2007 年重大ニュース-

2007 年に KBF で発生した重大ニュースをご紹介します。シリアス系からコミカルなものまでとりまぜて、ならべてみました。

詳しくお知りになりたい情報があれば KBF までお問い合わせ下さい。

中坊主任研究員、カナダへ行く

我らの主任研究員中坊真が、2007 年初冬にバイオマス先進地のカナダへ視察に行きました。届いた写真は食べ物の写真が多かったですが、まだ一般的に知られていないバイオオイルや、ロールの破砕機など NEDO 事業に参考になる有益な視察だったそうです。また多くのバイオマスの専門家やバイオマスの普及を行っている NGO の方々に出会えたのは最高の収穫だったそうです。

NEDO 事業の採草開始とプラントが竣工

NEDO 事業が本格化したのが今年でした。竣工式を迎えたプラントはとても頼もしいタービン音を響かせながら、発電しています。ただ、草ロールの特性に破砕機が対応できなかったりといったトラブルもあり、コンソーシアムメンバーの中外炉さんは日夜改善のために頑張っていますので、収集運搬を担当する KBF も今年は昨年のおよそ 2 倍の量を確保することを目標に採草班と運搬班の 2 チーム制で野草ロールを作って運んでいます。

農水省補助事業に採択

農林水産省の補助事業「地域バイオマス発見活用促進事業」の採択を受けて、九州一円でバイオマス利活用の気運を高めるための様々な事業を展開中。内容は、ホームページで！ <http://kbf.sub.jp/discover/>

エコキャラバンが九州をゆく

農水の地域バイオマス発見活用促進事業のメインイベントがこのエコキャラバンでした。ミュージシャンの SHIBA&TAKE さんと BDF 精製装置、ディーゼル発電機に音響機材、BDF で動くレーシングカートを積み込んで、3 台の車に 7 人のスタッフが乗り込んで九州をぐるっと一周回りました。SHIBA&TAKE さんは子どもたちにも大人気！ 廃食油を持ってきて下さった方へのバイオマスプラスチック製品のプレゼントもあり、旅の様子が TKU の番組になりました。番組をご覧になりたい方は DVD をお貸しいたします！

赤水事務所からの石事務所へ移転

長年慣れ親しんだ赤水駅舎から諸般の事情により石的の JA 永水農協跡に事務所を引っ越しました。今度の事務所は快適に過ごせるかと思いきや、コンクリート造りの建物なので冬の寒さが身に凍みるそうです。

ブッシュカッタージョージが輪地切りに大活躍？！

なかなか出番のない自走式の草刈り機械のブッシュカッタージョージですが、輪地切りをしてくれというニーズにぴったりな事実が判明しました。刈り払い機よりも早く、安全に作業を終えるジョージ君に「じゃあ、あそこも、こっちも刈ってくれ」と引っ張りだこでした。

野草紙プロジェクトが始動

地球環境基金の助成金を元に、KBF スタッフの井芹が事務局となって、グリーンエコツーリズムセンターの諸岡さんと環境省のアクティブレングャーの永原さんとアート和紙工房の太田さんと共に、阿蘇の草原を守るために草原の野草を使って卒業証書を作る取り組みを中通小学校と行っています。来年度は参加校を増やせるように、紙漉きの出来る場所（家・倉庫）を探していますので、ご存じの方・場所を提供してもよいという方はぜひご連絡下さい！

KBF の公用車が来るかも？

KBF のスタッフの負担だった車問題が解決しそうです。ディーゼルの 4WD 車を、購入を前提に探しています。程度のいい車だったら、BDF で走らせることも出来そうなので楽しみです。それが実現したら菜の花からの搾油もしたいですね。

大津愛梨理事長 ウーマンオブザイヤー 2007 受賞

常にメディアからの注目度が高い理事長ですが、日経新聞のウーマンオブザイヤーというとてもすてきな賞を受賞しました。理事長のライフスタイルがきっと多くの人の共感を得た受賞だと思います。愛梨理事長、これからも育児に活動に頑張ってください。

中坊さんご結婚

今春、突然、中坊さんが長年おつきあいされていた袖里さんにご結婚されました。実はこれが KBF の中では一番のニュースかもしれませぬ。中坊さん、仕事も家庭も大切に、これからも頑張らましよう。